

挑戦のステージのスタートにあたって

6月1日から通常登校、通常日課となりました。そして、今日から「挑戦のステージ」になります。見通しがもてないところもありますが、「新しい生活様式」を意識して感染防止に努めるとともに、子供の安心安全、学びの保証を第一に考え、教育活動を進めていきます。

朝のステージ集会では、子供たちに次のように話しました。御家庭でも「挑戦」について話題にさせていただき、お子様が目標に向かって挑み続けることができるように、勇気付けをお願いいたします。

若木っ子のみなさん、おはようございます。

心をつなぐあいさつはできていますか。校長先生はみなさんに、もう少し、自分も、相手も元気になるように大きな声で挨拶をすることで心と心をつないでほしいと感じています。

若木っ子のみなさんのこれからの心と心をつなぐ挨拶に期待しています。

さて、今日から普通の登校になり、全員が同じ日課で学校生活を送っていくことができるようになりました。

しかし、まだ、コロナウイルスが広がらないように、感染防止に気をつけていかななくてはなりません。

「マスクをする」「こまめに手洗いをする」「人との距離・間隔を意識する」この三つは、感染を防ぐための基本です。今までと同じように、しっかりとやってほしいと思います。マスクは、登下校の時、授業中、そして、休み時間や外で遊ぶときにもするようにしてくださいね。体育の授業の時は、とっってもかまいません。

一人一人がやれることをしっかりやって、感染防止に努めてください。それが、自分の命、まわりの人の命を守ることにつながります。

本来ならば、運動会が終わり、新たな気持ちで「挑戦のステージ」がはじまるというところですが、今年は、やっと、学校が始まったばかりです。学校のこと、学年・学級のこと、友達のことをまだよく分からないかもしれません。だからこそ、「自分の、みんなのよさ、力」を「伸ばす、つなげる」ことを意識してください。

ところで、「挑戦する」って、どういうことでしょうか。

それは、夢・目標・めあてにむかって、自分の今やれることを精一杯がんばって、失敗してもいいから、失敗を繰り返す中で、自分の力を伸ばすこと、自分を成長させること、自分に自信をもてるようにすることです。

挑戦ステージでは、若木っ子のみなさんには、次の四つのことを心にとめて、がんばってほしいです。

- ◆ 一つ目は、自分自身の、学年・学級の「夢、目標、めあて」をはっきりさせる。
- ◆ 二つ目は、それを達成するため、できるようにするために、今、何をしたらよいかを具体的に考える。
- ◆ 三つ目は、失敗してもいいから、とにかく、勇気を持ってやってみる。もし、うまくいかなかったら、周りの人の意見を取り入れるなどして、もう一度ちがうやり方でやってみる。
そして、「よくがんばったね。」「すごいね。」「すばらしいね。」と、その勇気やがんばりをみんなで認め合ってほしいと思います。
- ◆ 四つ目は、人の話をしっかり「きく」、自分の考えをはっきりと「話す・伝える」。
マスクをしていると、目のあたりしか見えないので、表情がよく分かりませんよね。
だからこそ、相手のこと、気持ちを考えて、相手を見てしっかりきく。そして、アイコンタクト、眼力（めじから）を生かして大きな声で最後まではっきり話す・伝えるように心掛けてください。
そうすることで、お互いの心や考えをつなぐことができると思います。

若木っ子のみなさん、

目標に向かって、あせらずに、毎日、自分がやれることをやって壁を乗り越え、「自分のよさや力」を伸ばしましょう。失敗してもかまいません。失敗することは、とても大事です。間違えたり、失敗したりすることは、「成功への道」です。

「明日の、未来の自分をつくるのは、今の自分」です。

夢、目標・めあてに向かって、今やれることを精一杯やって、充実した「挑戦のステージ」にしてくださいね。

若木っ子のみなさんの「笑顔とかがやき」がたくさん見られることを期待しています。